

# 【欧米】欧州・米国における持続可能な観光に関する調査（その3）

## ～欧州各国・米国各州における取組事例～

西川 宏和 ワシントン国際問題研究所研究員

### 1. はじめに

これまでの報告において、第一弾（その1）では欧州及び米国における観光に関する政府機関等の組織体制や持続可能な観光の取組等について、また、第二弾（その2）では欧州各国における観光関係の組織と政策について紹介した。最終報告となる今回の報告では、欧州各国・米国各州における持続可能な観光に関する具体的な取組事例について、特に都市・地域レベルのものを紹介したい。

### 2. 欧州各国の都市・地域における取組事例

前レポートで「観光業の経済への影響力の大きさ」及び「観光関連指標における持続可能性評価」を踏まえて選定した国の都市の中から、持続可能な観光に関する特徴的な取組の一例を以下に紹介する。

#### ①バレンシア（スペイン）

同都市は、世界で初めて観光産業によるCO2排出量を測定することに成功した都市であり、グリーン化の観点からカーボンニュートラルな観光に取り組んでいる。

#### ○都市の特徴

スペイン南東部に位置するバレンシア（Valencia）は、マドリッド、バルセロナに次ぐ人口第3の都市であり、歴史的建造物や博物館・美術館を楽しむことが出来るだけでなく、地中海に面した港湾都市であり、パエリア発祥の食の都としても知られている。

#### ○取組の概要

同市は、2025年までにカーボンニュートラルな観光を目指し

ており、2020年に市の観光戦略として発表した「Estrategia Sostenibilidad Turística VLC 2030」<sup>1)</sup>に基づき、持続可能性への取組を推進している（期間は2024年まで）。

この戦略では、石油系燃料の直接消費の削減、エネルギー効率の改善などについて定めているが、その一環として、市議会が参加する非営利財団 Visit Valencia Foundation とスペインの水道事業者 Global Omnium 社が協力して調査事業を行い、温室効果ガスの排出源と環境への影響が測定され、市内すべての観光活動から生じるCO2排出量に関する調査結果が公開された。同調査は、「直接排出量（旅行者が目的地までの往復に使用する輸送および域内輸送の排出量）」「間接排出量（観光活動におけるエネルギー消費による間接的な排出量）」「その他の間接排出量（宿泊施設、廃棄物管理、水管理等に関連する排出量）」の3つのスコープで構成されており、さらに、排出量の計算時にはさらに詳細な項目ごと（市内および市外への交通手段、レストラン、レジャー施設、ショッピングなど）の排出量も特定されている。バレンシアは、本取組により世界で初めて観光産業によるCO2排出量を測定することに成功した都市となった。今後の方針として、組織ごとのCO2排出量を記録するデジタル・カーボン・フットプリント管理システムを構築し、これにより商品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでの全体を通して排出される温室効果ガスの排出量削減に関して、その進捗状況をいつでもデータ利用者に共有できるようにする計画が進んでいる。

#### ○取組の結果

調査結果によると、バレンシア（Valencia）の2019年の観光によるCO2排出量は130万トンと計測された。内訳についてパーセントで記すと、そのうち81%については国内外の観光客による市内への交通利用（電車、飛行機、クルーズ船）によるも

のであったが、市内での輸送に関しては CO2 排出量が少なく、1%未満であった。その他にも、観光活動による CO2 排出量はバレンシア全市民の食料消費によって発生する総排出量の3分の1にすぎないことや、(地中海に面したその立地から) 欧州内でも水資源に恵まれているこの都市において、水の消費によるものはわずか0.01%、固形廃棄物(食品の残留物など)の収集・処理によるものは0.41%にすぎなかったことが分かった。

## ○今後の課題

こうした結果から、バレンシア市の脱炭素化への取り組みが、より大きな市場原理に左右される可能性があるという課題も見えてきている。つまり、CO2 排出量の多くが、市内への交通利用によるものであったことから分かるように、状況の改善のためには、バレンシアの国境を越えた多国間のソリューション(再生可能エネルギーやその他のクリーンな資源への移行)が必要になるということだ。また、排出量の測定やその責任の所在、脱炭素化のための資本投入に対する市場関係者のインセンティブ付けといった課題にも直面しており、市はこうした課題に対して、引き続き、対応を模索している。

## ②ベルリン(ドイツ)

同都市では、市のDMOであるVisit Berlinが中心となり、様々なデジタル化の取組により、観光体験の質の向上および観光消費の向上を通じて、持続可能な観光の実現を目指している。

## ○都市の特徴

ドイツの首都であるベルリンは、第二次世界大戦後にベルリンの壁によって街が分断された歴史を持つことで知られているが、壁が取り壊された後は、今も残っている壁がイーストサイド・ギャラリーと呼ばれるアートスポットとして生まれ変わっている。そこでのアートや、街の博物館・記念碑から第二次世界大戦や冷戦時代の歴史を学ぶことができる。

## ○取組の概要

2022年にベルリン上院が可決した観光戦略「Neustart Wirtschaft (Restart Economy. 経済再稼働)」<sup>2)</sup>に基づいて、デジタル化に関する様々な取組が、市のDMOであるVisit Berlinを中心に進められている。具体的な取組の例は、次の通り。

・データハブの構築により観光関連データの一元化と標準化を目指している。2022年にはそのプロトタイプが完成しており、観光関連の幅広い質的・量的なリアルタイムデータに関して、Visit Berlinがデータを集約・処理した上で、提供する立場になり、行政やビジネスなど幅広い分野でデータ分析によるアウトプットが活用されている。

・観光客の流れをデジタルで記録するためのプロジェクトにより、観光客のスマートフォン等の通信機器のデータを使って、日帰り観光客、通勤客、宿泊観光客、ベルリン市民に関する発見や気づきを新たなデータ基盤から導き出し、可視化しようとする取組が行われている。この取組により、行政機関、観光関係者、パートナーらによるデータドリブンで具体的かつ詳細な評価や声明を可能にすることを目的としている。

・2021年から観光プロバイダ(博物館、展示会、会議主催者、運送会社、ツアープロバイダなど)向けに包括的なチケットソリューション「Public Ticket Solution」が提供されており、消費者やアクセス管理のデジタル化(発券のために既存のレジシステムやアクセスシステムにつなぐインターフェイスの開発・統合)をサポートしている。2022年までに30万を超えるチケットがこのシステムを介して発券された。

紹介したこれらの取組には期限がなく、今も改善を繰り返しながら、取組が継続されている。

## ③コペンハーゲン(デンマーク)

同都市では、ホテル業に携わる現地の企業が、同業界における人材開発を通じて観光地の持続的な成長と発展を目指している。

## ○都市の特徴

デンマークの首都であるコペンハーゲンのニューハウンは、1600年代に作られた人工の港で、現在はレストランやショップが立ち並び、カラフルな家々と港の風景が、美しい景観を作り出している。パステルカラーとシンプルな造形をした北欧デザインが街中に溢れており、観光客は街歩きを楽しんでいる。

## 〇背景

同市を拠点とし、ホテルや会議施設、展示会やホスピタリティ業界を代表するデンマーク企業 Bellagroup<sup>3)</sup>は、経営上の最大のリスクの一つとして有能な人材の不足を挙げている。この問題は今後さらに深刻化することが予想されており、同社は国内における雇用創出や能力開発に積極的に取り組んできた。

また、同社は 2019 年には国際観光業パートナーシップ (International Tourism Partnership : ITP)<sup>4)</sup> に加盟している。ITP は、世界有数のホテルグループが集まり、地球環境や社会に与える課題にアクションを講じることを目的とした団体で、①二酸化炭素排出削減、②水使用量の削減、③若者雇用、④人権の尊重を実現することを主要目標に掲げている。

同社のこうした活動はデンマーク政府の目標設定とも一致したものとなっている。2023 年にデンマーク政府は、当初、2050 年までにネットゼロを達成するとしていた目標をさらに野心的なものに更新し、2050 年ではなく 2045 年までにネットゼロを達成し、2050 年には 1990 年比で全国的に CO2 排出量を 110% 削減し、結果的にマイナスレベルにする目標を設定した。<sup>5)</sup> 同社もこれに追随すべく 2050 年までにネットゼロを達成するという目標設定を掲げている。

## 〇取組の概要

上記の背景を踏まえ、Bellagroup は、移民・非定職者の就業支援に取り組んだ。同グループが保有するホテル AC Hotel Bella Sky Copenhagen は 2019 年夏、ハウスキーピング人材を 150 人採用するという必要性に迫られた際、海外からの難民や非定職者等を対象に就職サポートするイニシアチブ「Sammen om virksomhedsrettet integration (Together on business-owned integration) (SOVI)」<sup>6)</sup> を実施した。このイニシアチブでは、デンマークの外国人労働者を支援する NGO 団体のニューデーデン協会 (Foreningen Nydansker) や全国テナント協会の LO Hovedstanden、地域の労働センターと連携して、福祉給付金に依存して生活する非西洋圏地域の出身者を対象に、座学と実習、語学訓練を組み併せた職業訓練を提供し、正社員への道をサポートするというものだった (本取組は 2021 年に終了)。

また、若い世代のホテル業界への就職に対する関心を高める取組も行っている。Bellagroup は 2019 年、地元の学校 Højdevangens Skole と提携し、学生たちにホスピタリティの仕事について実践的に学ぶ機会を提供した。4 ヶ月間にわたって

週に 1 日、同社のホテル施設などで生徒を過ごしてもらい、ガストロノミー、ホスピタリティ、持続可能性に関する実地経験を積ませ、将来ホテル業界で働くことに興味を持ってもらうことを狙いとした。プログラムの最後には、Bellagroup のサプライヤーであり、世界最大級の消費財メーカー Unilever と共同スポンサーで料理コンテスト「Master Chef」を実施し、参加者らに持続可能性をテーマに 2 コースのベジタリアン料理を作ってもらったイベントを実施した。

直近の 2023 年においても、「Bella Chefs training and talent program」<sup>7)</sup> が実施されており、同プログラムでは、持続可能な調理、気候への影響緩和、食品廃棄物の最小化、衛生管理、エネルギーの最適化などに重点を置いたカリキュラムを通じて、シェフの育成とスキルの最適化を保證するプログラムを若者に提供している。

## 3. 米国各州の都市・地域における取組事例

米国は広大な土地と自然を有しており、国内には合計 59 の国立公園が存在している。そのため、持続可能で責任ある旅行体験を求める旅行者が増えるにつれ、特にエコツーリズム (環境への影響を最小限に抑え、自然保護活動を支援しながら自然地域を訪れることに焦点を当てた観光の一形態) に関する取組が各州で実践されている。こうした背景を踏まえ、持続可能な観光についての取組として、エコツーリズムの一環であるグリーン化や生物多様性に関する事例を紹介したい。

### ①フロリダ・キーズ (フロリダ州)

同地域においては、周辺海域の環境保全による生物多様性の保護を行っており、その中でも特に、同地域において北米で唯一存在する生きたサンゴ礁の保護・復元に関する取組を通じて、持続可能な観光に寄与している。

### 〇都市の特徴

フロリダ・キーズは、米国フロリダ州の南に位置する北東から南西に向かって伸びる細長い列島を指し、主に 5 つの島 (フロリダ半島側から順にキー・ラーゴ、イスラモラダ、マラソン、ビッグ・パイン・キー、キーウエスト) から成り立ち、その全長は約 290 キロメートルとなっている。のんびりとした自然豊

かな雰囲気が多く、観光客を魅了している。

## ○取組の概要

亜熱帯の島々が連なるフロリダ・キーズには、アメリカ本土で唯一の生きたサンゴ礁が存在しており、フロリダ・キーズを囲む周辺海域は、1990年に設定されたフロリダ・キーズ国立海洋保護区<sup>8)</sup>によって保護されている。同保護区は連邦政府機関である National Oceanic and Atmospheric Administration (米国海洋大気庁) により管理されている海洋保護区のひとつであり、自然の生物群集を維持し、生息地や生態系を保護・復元・強化することを目的として設置されている。フロリダ州と共同で管理されているこの保護区は、マイアミの南から西へフロリダ・キーズ周辺海域 3,800 平方マイルを保護しており、保護区の境界線内には、北米唯一のサンゴ礁のバリアリーフ、広大な海草藻場、マングローブに縁取られた島々、6,000 種以上の海洋生物など、壮大でユニーク、かつ国家的に重要な海洋資源が存在する。

保護区を訪れる観光客には、世界有数のダイビング、水泳、シュノーケリング、釣りなど、この素晴らしい生態系が提供する多くのレクリエーション活動を利用することが奨励されているが、これらのレクリエーションは、保護区の自然・文化資源に害を与えないような方法・場所でのみ行われるよう、規則が設けられている。

その他にも、観光客に素晴らしい自然環境を持続可能な方法で体験してもらうために、地域の観光促進団体であるフロリダキーズ&キーウェスト観光協議会は、2018年から現在に至るまで「コネクト&プロテクト」キャンペーン<sup>9)</sup>を実施している。このキャンペーンは、観光客が体験型アクティビティを通して、フロリダ・キーズ独自の自然環境を発見し、その環境と個人的な繋がりを感じた後に、この島々での滞在に積極的なエコ・アクティビティや体験を取り入れることで、地元住民のように地域の環境を保護・保全する意欲を高めてもらうことを目的としている。具体的な体験型アクティビティの例には、下記のものが含まれる。

### ・野生生物レスキューセンター

キー・ラーゴのフロリダ・キーズ・ワイルドバード・センターや、世界的に有名なマラソンのタートル・ホスピタルのような場所を探検し、ウミガメのリハビリテーション活動や保護など

の野生動物の保護について学ぶことができる。

### ・ボラントゥリズム (ボランティア活動への参加を目的とした旅行) の機会

キー・ラーゴの Coral Restoration Foundation (サンゴ再生財団) でフロリダ・キーズのサンゴ礁の養殖を手伝い、復元を支援するプログラムに参加できる。新しいボランティアの一日は、研修から始まり、その後、地元のダイバーと出かけて、サンゴ礁の小さな子孫を植え、成長を見守る。最終的にプログラムに参加できるのは、こうした経験を積み、認定を受けたダイバーのみとなる。

フロリダ・キーズでは、その他にも化学物質の影響を受けやすく繊細なサンゴ礁のために、自然化粧品メーカーの提供するサンゴ礁に優しい日焼け止めの利用を推奨したり、海上移動なるべくモーターを使わずに移動したり、地元海域から駆除が必要な侵略的捕食種であるミノカサゴを食べるなどの取組を通じて、サンゴ礁を自立可能なレベルまで回復させ、その多様性と生態学的機能を回復させることに取り組んでいる。

## ②ブリッケンリッジ (コロラド州)

同地域では、独自に実施している持続可能な観光に関する運動へと地域住民・観光客などあらゆる人の参加を求めることにより、グリーン化を通じた持続可能な観光を実現しようとしている。

## ○都市の特徴

コロラド州に位置するブリッケンリッジは、1800年代半ばにゴールドラッシュ時代にできた町であり、メインストリートには西部開拓時代風の建物が立ち並び、パイオニア精神と鉱山の町の雰囲気を今なお残している。また、世界最大級のスキー場であるブレッケンリッジ・スキー・リゾートを擁しており、アウトドア好きに人気の観光目的地となっている。

## ○取組の概要

ブリッケンリッジでは、歴史ある山間の町を体現した独自の持続可能な観光に関する運動として「B-Like Breckenridge (ブリッケンリッジのように)」<sup>10)</sup>を実施している。この運動は、何世代にもわたって持続可能なコミュニティを確

保するために開始されたもので、週末に町を訪れる人であれ、町に生涯住む人であれ、すべての人が地域社会と自然環境の保全と保護を目指すように意図的に生き、互いにつながることをブリッケンリッジ町が奨励しているものである。その具体的な構成要素には以下の内容が含まれる。

#### ・ブリッケンブリッジの精神を受け入れる

自然や野生生物との関わりの中で、コミュニティと環境に対して思慮深く行動すること、つまりは、すべての人にブリッケンリッジの精神で生きることを奨励する。具体的には、下記のような行動を意味する。

- a. 使用量を減らす：消耗品などの消費量に気を配り、廃棄物を最小限に抑える。
- b. もっと歩く：持続可能な交通手段を選び、徒歩で散策する（ガソリン車を使用しない）。
- c. 痕跡を残さない：環境を尊重し、手を加えることなく見つけたままの環境を残す。
- d. トレイルにこだわる：決められた道を歩き、自然の生息地を守る。
- e. 野生動物を尊重する：毛皮や羽毛で覆われた隣人を大切に扱う。
- f. 責任ある管理者になる：私たちの世界を守るために、大なり小なり行動を起こす。

#### ・ツリーハガーチャレンジ (Tree-Hugger Challenge)

自然の美しさを楽しみながら、アウトドア愛好家に Leave No Trace (痕跡を残さない) の原則を実践することを奨励するための取組である。参加者はインタラクティブなクイズに挑戦し、環境保全について学び、美しい環境を保全・保護するために、責任あるアウトドア探検の精神を身につける。

こうした運動により観光客も含めたすべての人へのコミュニティへの共感を醸成しながらも、実践的な取組も行われている。

2023年5月、ブリッケンリッジは車よりも自転車を奨励するため、12のハブで75台のe-bikeを使った自転車シェアプログラム「Breck E-Ride」<sup>11)</sup>を開始した（このプログラムは試験的

なものであり、同年の10月31日まで実施された）。「Breck E-Ride」では、環境に優しい電動アシスト付き自転車を利用でき、これらの自転車は町中の便利な場所にあるハブでレンタルができる。利用者は、簡易なアプリを使ってe-bikeのロックを解除するだけで、散策の準備が整う。特に観光客の利用者にとっては、駐車場を探したり、渋滞で時間を無駄にする必要がないということも利点に挙げられている。当プログラムについては、現在、ブリッケンリッジ町の職員が実施期間中に収集された匿名化されたデータを分析し、プログラムの有効性を測定し、今後のシーズンでも取組を継続するかどうか、またどのように継続するかを決定している段階にある。

その他の取組として、経験豊富なハイカーでも、気軽にウォーキングを楽しむ人でも、単にアウトドアが好きな人でも、「Friends of Breckenridge Trails」<sup>12)</sup>というプログラムに参加することで、地域の環境やコミュニティに積極的に貢献することができる。本プログラムは、地元の人々や観光客が、ブリッケンリッジ町のトレイル・システムの維持管理に参加する機会を提供することを目的として、開始年の2016年から現在に至るまで継続されている。主な内容としては、以下のものが含まれる。

#### ・ボランティアの機会

雑草抜きやゴミ拾い、トレイルの整備など、地元の空間を維持するためのボランティアの機会を管理する。参加希望者は、町のウェブサイトで情報を確認でき、また、ボランティアの内容ごとに身体的な辛さのパラメータが示されており、参加する際の判断の指標とすることができる。

#### ・ナショナル・トレイル・デー・イベント

地域住民や観光客がトレイルの改善のためのボランティア活動に参加できる「ナショナル・トレイル・デー」などのイベントを開催する。6月の第1土曜日に開催され、トレイルの奉仕活動に従事することを目的としており、愛好家に多くの喜びを与えてくれるトレイルへの恩返しとしてお祭りの行われるイベントになっている。

## 4. おわりに

以上が、欧州各国・米国各州における持続可能な観光に関する具体的な取組事例についての報告となる。

欧州においては、特に世界で初めて観光産業によるCO2排出量を測定したバレンシア（スペイン）の取組、データを利用した観光促進を目指すベルリン（ドイツ）の取組など、大都市ならではの大規模な取組がいくつか見られた。他方で、コペンハーゲン（デンマーク）における若者を観光分野へ導くための取組なども存在しており、こうした事例は、今なお人材不足に悩む日本の地方部における観光地においても参考にできるものであると考える。

また、米国においては、その地域ごとの強み（フロリダ・キーズのサンゴ礁、ブリッケンリッジのトレイル等）について、地元住民・観光客などすべての観光関係者を巻き込んだ包括的な取組が実施されていることが分かった。ボランティアの実施に際しても、例えば、サンゴ礁の再生に関して言えば、ただボランティアとして良い行いをするだけではなく（誰にでも参加してもらうという訳ではなく）、まず、しっかりとその観光地の抱える課題・背景を知り、自分事として捉えた上でやっとな参加が可能になるというプログラムの構成は興味深く、一過性のものでなく、その後の将来にも繋がる取組の内容になっている。その興味・関心の強さに関わらず、潜在的にでも存在しているファンの心を惹きつけ、一緒に取り組んでいけるように教育するプログラムは、まさに社会が一体となった持続可能な観光の一つの形と言えるだろう。

持続可能な観光に関しては、日本の地域における具体的な取組事例についても、観光庁及び国連世界観光機構（UNWTO）駐日事務所がまとめたものが「持続可能な観光の実現に向けた先進事例集」<sup>13)</sup>として公開されており、その内容を見ると、持続可能な観光に関して、日本全国でも多様な取組が実施されていることが分かる。日本でも持続可能性という言葉が日常的に聞かれるようになって久しいが、欧州のように最先端の取組を実施し、その都市や地域の課題をデータ等の深いレベルで捉えることも重要であるが、それと同時に、米国で取り上げた事例に見られるように、持続可能な観光に携わるすべての人々がその体験を通じて、そうした取組の意義を考え直し、ブリッケンリッジの精神を持って、大小を問わず行動を変えるための意識変革を始めれば、観光地だけの取組としてではなく、地域を超えた

もう一段階高いレベルの持続可能な観光が可能になると考えている。

引用・参考文献・出典資料

- 1) [Strategic plan for tourism sustainability in the city of Valencia | One Planet network](#) (アクセス：2024/3/25)
- 2) [Berlin Tourism Plan | about.visitBerlin.de](#) (アクセス：2024/3/25)
- 3) [Bellagroup](#) (アクセス：2024/3/25)
- 4) [International Tourism Partnership \[ITP\] | Roundtable Human Rights in Tourism \(humanrights-in-tourism.net\)](#) (アクセス：2024/3/25)
- 5) [New Danish government moves forward net-zero climate target to 2045 \(um.dk\)](#) (アクセス：2024/3/25)
- 6) [Projekt "Sammen om virksomhedsrettet integration" lukker og slukker - FH Hovedstaden](#) (アクセス：2024/3/25)
- 7) [bellagroup\\_rh\\_rapport2022.pdf \(bellagroup-envr.com\)](#) (アクセス：2024/3/25)
- 8) [Florida Keys National Marine Sanctuary \(noaa.gov\)](#) (アクセス：2024/3/25)
- 9) [Connect & Protect Archives - Keys Voices | The Florida Keys & Key West Blog \(fla-keys.com\)](#) (アクセス：2024/3/25)
- 10) [B Like Breckenridge - Breckenridge, Colorado \(gobreck.com\)](#) (アクセス：2024/3/25)
- 11) [Breck E-Ride \(breckeride.com\)](#) (アクセス：2024/3/25)
- 12) [Friends of Breckenridge Trails | Breckenridge Recreation \(govaccess.org\)](#) (アクセス：2024/3/25)
- 13) [持続可能な観光の実現に向けた先進事例集 | 事例集・支援ツール | 観光庁 \(mlit.go.jp\)](#) (アクセス：2024/3/25)